



PUBLIC MAGAZINE

パブリック マガジン

第445号

発行 上士幌町農業協同組合

編集 営農振興部営農振興課

印刷所 上士幌印刷

かみいはる

謹賀新年

2025



目次

- P 1～7 …年頭のご挨拶
- P 8 ……謹んで新年のお慶びを申し上げます
- P 9 ……就任のご挨拶 理事会だより
- P 10 ……農協法公布記念にあたって
- P 11 ……J A 青年部子ども農業体験（酪農）
- P 12 ……J A 青年部給食センターへ馬鈴薯寄贈  
第49回 J A 十勝青年部大会盛大に開催される
- P 13 ……J A 青年部管外合同視察研修開催  
第73回 J A 青年部全道大会開催
- P 14 ……J A 女性部日帰り研修会開催
- P 15 ……令和6年度 J A 北海道女性大会・北海道家の光  
J A 女性部商工会女性部との交流会開催  
家の光
- P 16 ……すずらん会11月例会 すずらん会12月例会
- P 17 ……2024北海道ホルスタインナショナルショウ  
ジュニアチャンピオン受賞祝賀会を開催
- P 18 ……第31回 J A 北海道大会開催  
おいしいミルクレシビ
- P 19 ……ドローンによる農薬散布デモフライト実施  
身近な草木和ハーブ入門
- P 20 ……酪農情報
- P 21 ……J A グループ北海道の農政活動強化に向けて  
行事予定
- P 22 ……J A グループ北海道の農政活動強化に向けて
- P 23 ……秋の収穫作業風景
- P 24 ……令和6年度巡回ドックの最終案内
- P 25 ……令和6年度年末年始業務体制

# 年頭のご挨拶



代表理事組合長

高橋 昭博

令和七年の新春を迎え、組合員並びにご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は当組合の事業運営に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、役員を代表しまして厚く御礼を申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢は、インバウンド需要は回復傾向にあるものの飼料、肥料、燃油等の農業資材の高止まりや、円安の進行もあいまって、農業経営に大きな影響を及ぼしております。資材高騰が続

く一方、農畜産物価格への転嫁は円滑に進んでおらず、気候変動等による自然災害の多発化、食料自給率の低迷と農業者の急減など、様々な情勢の変化や課題に直面しております。

一方、政府は四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法を改正するとともに、初動五年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置づけ、施策を集中的に実行することとしました。JAグループは、農業者が将来展望をもって営農継続できる施策の方向性を示すと

ともに、実効性のある基本計画への改定、食料・農業・農村政策の確立、その裏付けとなる農業関連予算の中長期的な拡充を重点におき要請を行って参ります。本町の農業生産基盤の維持・発展のためにも、今後JAグループとしても、意思結集・反映が重要となります。

さて、昨年の本町農業を顧みてみますと、春耕期は好天に恵まれ春作業は順調に経過しました。五月下旬から六月上旬の低温小雨により、一時的に豆類やてん菜の生育が停滞しましたが、その後気温が上昇し生育が進みました。六月中旬以降は高温により、てん菜褐斑病が平年より早く発生しましたが、七月以降も引き続き好天に恵まれ、豆類の開花や小麦の成熟が早まり、小麦の収穫は平年より八日早く始まるなど作物全般の生育は順調に進んだところであります。豆類収穫期には雨天が重なり、一部金時で色流れの影響が出ることがあり、組合

員の皆様におかれましては収穫作業に苦慮されたことかと思えます。昨年は自然災害による作物への甚大な被害もなく、組合員の皆様のご努力と高温少雨ではありましたが比較的天候が良好に推移したこともあり、畑作物は総じて平年並みの結果となりました。また、飼料作物においては、品質は一昨年より良質、収量は二番牧草の刈遅れがあつたものの平年並を確保することができました。

生乳生産においては、生産抑制は緩和されたものの一昨年の記録的猛暑による受胎時期のずれの影響もあり、平年並の乳量となりました。家畜消流におきましても、生乳生産抑制に伴い全国的に乳牛飼養頭数の減少と生産費の高騰や枝肉価格の低迷もあり、価格が堅調に推移しているものの依然として厳しい状況が続いております。このような農業情勢においても、研鑽を惜しまず日々努力される組合員の皆様には心より感謝と敬意

を表するところであります。

近年農業を取り巻く情勢は刻々と変化し、より多くの情報収集が必要となっておりま。社会経済情勢に迅速に適応し、組合員の声に耳を傾け、組合員経済の維持発展とJAの経営基盤強化に取り組み、先人が築き上げた上士幌町の農業を魅力あるものとして次代に継承できるよう誠心誠意努力して参ります。このような厳しい状況だからこそ「協同」の力をもってこの激動の時代を乗り越えて行かなければなりません。今後とも組合員並びにご家族の皆様のご理解とご協力を賜り、皆様と共に歩んで参る所存でありますので、協同組合に結集頂けますよう衷心よりお願い申し上げます。

結びに、組合員並びにご家族の皆様のご多幸を願いつつ、不断の努力が報われる一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 年頭のご挨拶



会長理事  
小 椋 茂 敏

令和七年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

組合員並びにご家族の皆様には、この希望に溢れる新年を皆様お揃いでお迎えになられたことと心よりお慶びを申し上げます。また、旧年中は当組合の事業運営に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、昨年の作況を振り返りますと、全道的にみましても概ね天候に恵まれ、本町においては、小麦で等級品反収が過去最高を記録するなど総

じて平年作以上を確保した良好な一年となりました。家畜商流においては一部価格の低迷が見られますが、生乳においては生産抑制下から脱し、増産に向けて再スタートした年となりました。

一方、農業を取り巻く情勢は、今、大きな転換期にあります。異常気象等により世界規模で自然災害が頻発し栽培適地が徐々に変化してきており、気候変動への対応が求められているほか、深刻化する国際紛争等により生産資材費は高止まりしている一方で、

その上昇分を補えるだけの価格転嫁が思うように進んでいないなど、農業経営に甚大な影響を及ぼしており、より一層厳しい経営環境におかれています。また、国内人口の減少とは対照的に世界人口は増加の一途をたどっており、今後国際間における食料の獲得競争が激化することが見込まれています。

業確立のため、より強固な政策を国に求めて行くことが重要となります。

さて、昨年十一月には第三十一回J A北海道大会が開催され、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」を育み、ひとと歩むくを将来ビジョンに見据え、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「農業・食・J Aへの理解醸成」が決議されました。食料安全保障の強化が喫緊の最重要課題であり食料自給率の向上に資するとともに、北海道農業の確立に向け各種施策を実行して行く必要があります。また、J Aにおける経営統制を構築することで経営基盤を強化し、国内人口の減少局面における人材の確保・定着を図りつつ、広く消費者に農業・食・J Aへの理解を醸成して行くことが必要であると認識するところであります。

このように農業情勢が大きく変動する中にあっても不眠の努力を惜しまず、日々営農に勤しまれていくその姿には深甚なる敬意を表するところであります。

このような厳しい状況だからこそ「協同」の力をもってこの激動の時代を乗り越えて行かなければなりません。そのためには組合員並びにご家族の皆様のご理解とご協力が必要不可欠であります。今後必要不可欠であります。今後も協同組合に結集頂きますよう衷心よりお願い申し上げます。とともに、私も皆様のご期待に沿えるよう、J A運営はもとよりJ A北海道中央会の職務を全うできるよう全身全霊で取り組んで参る所存であります。

結びに、組合員並びにご家族の皆様がご健勝にて穏やかに営農と生活を営むことができますよう切に念願し、あわせて豊穰の出来秋となることをご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

組合員の皆様にとつては、

# 令和7年の 年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会  
代表理事会長

## 樽井 功

新年あけましておめでとう  
ございます。

組合員の皆様におかれまし  
ては、日々営農に更に邁進さ  
れておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆  
様が一丸となり地域農業の振  
興や地域社会の発展に向け、  
日頃より多大なご尽力をされ  
ていることに対しまして、改  
めて敬意と感謝を申し上げる  
次第であります。

昨年北海道農業について  
は、春先から天候に恵まれ、  
各作物の生育は全般的に平年

よりも早く進んでおりました。  
しかしながら、夏場は猛暑・  
豪雨による記録的な高温多湿

の影響を受け、各作物等の収  
量および品質に影響が出た年  
となりました。

近年、気候変動等による自  
然災害の多発や栽培適地の変  
化、国際紛争や急激な円安の  
進行による飼料・肥料をはじ  
めとした生産資材の高止まり  
が農業経営に甚大な影響を与

えており、農業・農村を取り  
巻く環境は一段と厳しさを増  
しております。

昨年には、四半世紀ぶりに  
食料・農業・農村基本法が改  
正され、現状に即した基本理  
念の見直しと、「食料安全保  
障の抜本的な強化」、「環境と  
調和のとれた産業への転換」  
等の実現が盛り込まれました。

政府は、初動五年間を農業構  
造転換集中対策期間と位置づ  
け、施策を集中的に実行する  
とともに、今年三月に食料・  
農業・農村基本計画を策定す  
るべく引き続き検討を進めて  
おります。

J Aグループ北海道として  
は、食料安全保障の強化と持  
続可能な北海道農業の確立の  
ために、農地の確保および適  
正利用の強化、食料・自給飼  
料等の安定生産・供給と環境  
負荷軽減の両立に取り組みな  
がら、それを後押しする力強  
い政策支援を求めていくこと  
が重要と考えております。

また、昨年は第三十一回J  
A北海道大会が開催され、「食  
料安全保障の強化と持続可能

な北海道農業の確立」、「J A  
の組織基盤の強化と健全な経  
営基盤の確立」、「アグリアク  
ション北海道の推進による農  
業・食・J Aへの理解醸成」  
の三つの議案を決議いたしま  
した。

今後、議案の達成に向けて、  
組合員・J A・連合会が一丸  
となつて、生産現場の行動変  
容と組合員の意思結集による  
農政運動、J Aの経営管理の  
高度化やデジタル化の推進に  
よる業務効率化・生産性向上  
に取り組んでいかなければな  
りません。

さらに、消費者の皆様には、  
J Aグループ北海道統一の情  
報発信のフレーズである「ア  
グリアクション北海道」を浸  
透させるとともに、効果的な  
情報発信により、今まで以上  
に農業・食・J Aに対する理  
解を深めていただき、J Aグ  
ループが提唱する「国消国産」  
の認知を広げてまいりますよ

う。

結びになりますが、本年は  
巳年です。巳（へび）は冬眠  
から目覚め地上に這い出すこ  
とから、冬に根をはつた草木  
が芽を出し「新しい種子が生  
まれる」という意味があると  
言われ、転じて、巳年は力を  
蓄えていたものが芽を出す「起  
点」の年、脱皮する特性と併  
せ「再生と誕生」を意味する  
年だと言われています。

この謂われにあやかり、本  
年が北海道農業の飛躍の起首  
となること、皆様のご多幸と  
ご健勝をご祈念申し上げます。  
年頭のご挨拶いたします。





# 年頭のご挨拶



支所長 熊谷 健一  
十勝農業改良普及センター  
十勝北部支所

新年明けましておめでとう  
ございます。皆様におかれま  
しては、ご健勝にて令和七年  
の新たな年をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。また、  
日頃より当センターの普及活  
動に對しましてご理解とご協  
力を賜り、心より感謝申し上  
げます。

昨年の上士幌町における四  
月から十月までの気象経過を  
平年と比較しますと、積算気  
温は百十六%、積算日照時間  
は百十二%、積算降水量は八

十九%となりました。また、  
前年の根雪始は平年より五日  
遅くなり、最大積雪深は平年  
並、最大土壌凍結深は平年よ  
り約五cm浅くなりました。融  
雪期は平年より三日早く、そ  
の後も好天が続いたため耕起  
始は三日早まり、てんさいの  
は種・移植、ばれいしよの植  
付作業は順調に進みました。

五月中旬も好天に恵まれ、飼  
料用とうもろこしや豆類のは  
種作業も順調に終了しました。  
五月下旬く六月上旬の低温少

雨により、豆類やてんさいの  
生育が一時停滞しましたが、  
その後気温が上昇、以降生育  
期間全般で気温が平年より高  
く推移したため、各作物の生  
育は進みました。ことに秋ま  
き小麦や豆類の生育は大幅に  
早まり、収穫作業も平年より  
早く終了しました。

各作物とも収量は概ね平年  
以上となり、秋まき小麦は過  
去最高レベルとなりました。  
ただ小豆や菜豆では莢先熟が  
見られ、小豆では過熟や腐敗、  
金時では色流れの発生で等級  
や規格内率の低下が見られま  
した。てんさいは高温により  
褐斑病の初発が平年より早ま  
りましたが、皆様の昨年の経  
験を活かした防除により、根  
中糖分は平年並となりました。

この一年の農業情勢ですが、  
昨年六月に「食料・農業・農  
村基本法」が改正され、農政  
の新たな転換期を迎えること  
となりました。また昨年の夏  
も高温傾向となり、突発的な  
豪雨の発生など、これまでと

は違う気候の変化が常態化し  
てきています。それに伴う気  
象災害、農産物の収量・品質  
の低下や、暑熱による家畜の  
生産性低下が懸念されていま  
す。加えて近年は飼料作物ほ  
場を中心に難防除雑草の侵入  
による、作物の生育や収穫作  
業への影響も見られ、それら

諸問題への対応が今後重要課  
題になると考えられます。更  
に肥料、輸入飼料、資材、燃  
油等エネルギーの高騰、担い  
手不足など、厳しい状況は続  
いています。

これらの問題に對し、速効  
的な対策は少ないかもしれま  
せんが、農業者と関係機関が  
一丸となつて取り組んでいか  
なければなりません。肥料高  
騰に對しては堆肥やバイオガ  
スプラントから生じる消化液  
等地元資源の活用、土壌分析

を活用した適正施肥の徹底、  
緑肥投入によるほ場の地力向  
上、飼料高騰に對しては飼料  
分析に基づいたムダの無い飼  
料給与、雑草対策や草地の植

生改善による良質自給粗飼料  
の確保等、一つ一つ着実に積  
み重ねていくことが重要と思  
います。

普及センターでは重点的に  
取り組む地域課題として、令  
和三年度より幸福地域（六戸）  
の皆様を対象に、ばれいしよ  
を中心とした畑作物の安定生  
産を目指し、栽培技術の改善  
に取り組んでいます。また若  
手畜産農家の方々を対象とし  
た畜産ゼミナールも昨年度か  
ら引き続き実施しております。

今後とも関係機関の皆様方と  
連携して、普及事業の基本テ  
ーマである「地域の目となり  
耳となる普及」「農業者のそ  
ばに立つ普及」「地域の知恵  
袋となる普及」を念頭に、地  
域振興の一助となるよう活  
動していく所存です。

結びに、皆様方のご健康と  
ご活躍、稔り多き一年である  
ことをご祈念申し上げ、年頭  
のご挨拶とさせていただきます。

# 年頭のご挨拶



ホクレン清水製糖工場  
北部原料所

所長 鍵下 恵太

新年明けましておめでとう  
ございます。皆様におかれま  
してはつつがなく新しい年を  
お迎えのこととお慶び申し上  
げます。また、日頃よりホク  
レン清水製糖工場及び北部原  
料所の活動に對しまして、ご  
理解とご協力を賜っておりま  
すことに心より感謝申し上げ  
ます。

年並、移植定植は平年より早  
く進みました。その後の初期  
生育期間（七月上旬まで）は  
気温が高く、降水量も少なく  
推移したため、生育は順調に  
進みました。しかし、その後  
も平年より高い気温が続いた  
ことと、七月上旬以降は降水  
量が少なかったことにより、  
早魃被害が発生しました。七  
月下旬に降雨があったため、  
その後に早魃被害は回復しま

したが、気温が平年より高い  
状況が続いたことと八月以降  
は降水量もあつたため、褐斑  
病が蔓延しやすい条件となり  
ました。褐斑病については、

例年より早い六月下旬から防  
除を開始していただき、その  
後も防除間隔を短くして防除  
徹底していただいたことで、  
昨年の様な多発条件の中でも  
発生を遅らせることができた  
と考えております。その結果、  
平年より高い収量を見込んで  
おります。褐斑病につきまし  
ては、耐性菌の発生が確認さ  
れていることから使用できる  
薬剤も限られている状況では  
ありますが、来年から新しい  
薬剤も加わりますので、今後  
も防除方法の見直しを行って  
いきたいと考えております。

製糖工場としましては、生産  
者から供給していただいた貴  
重な原料てん菜を一つも無駄  
にすることなく砂糖にすべく、

現在も操業が続けられていま  
す。

話しは変わりますが、本年  
の原料てん菜の受入輸送につ  
いては、二〇二四年問題への  
対策として受入時間を三十分  
短くした中での受入をさせて  
いただきました。J A 上土幌  
町様におかれましては車輛確  
保にご尽力いただき、心より  
感謝申し上げます。また、本  
年は高収量により輸送が遅れ  
気味で経過いたしました、ホ  
クレンの皆様にはご協力をい  
ただき、心より感謝申し上げ  
ます。

砂糖業界を取り巻く環境に  
ついては、コロナ禍の際に増  
加した砂糖在庫はその後の消  
費回復などにより適正在庫量  
を下回ってきており、在庫問  
題は解消しております。一方  
で、てん菜の作付面積は令和  
八年指標面積 五万ha を下  
回っておりますので、畑作の

輪作体系維持のためにもてん  
菜を作付していただけるよう  
に活動して参りたいと考えて  
おります。製糖工場として、  
生産者皆様の安定生産・所得  
確保に向けてJ A ・関係機関  
と連携し、栽培技術指導など  
の営農支援活動、適正な輪作  
体系の維持をしていくための  
活動を行っていきたいと考え  
ております。些細なことでも、  
原料てん菜に関することでご  
相談などありましたら、ホク  
レン北部原料所をご活用して  
いただければ幸いです。

結びになりますが、皆様方  
とご家族のご健勝とご多幸並  
びに豊穰の秋を迎えられます  
ことを心よりご祈念申し上げ、  
新年の挨拶とさせていただきます。

畑作の



# 楽しい女性部をめぐして



J A 上土幌町女性部

部長 布谷 桂子

新年明けましておめでとうござい  
ます。

皆様におかれましては、希望に満  
ちた健やかな新春をお迎えのこと  
心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より女性部活動に対し、  
部員の皆様やそのご家族様、そして  
役員の方々並びに組合員の皆様には  
多くのご理解、ご協力を頂いてい  
ることに深く感謝申し上げます。

さて、コロナ禍も落ち着き女性部  
に関しましては、昨年度設立七十周年  
という大きな節目を迎え、今年度は  
気持ち新たに再始動して参りました。

昨年七月には、夏季研修会を開催  
し紅茶講習とランチ会を行い、連日  
の暑さと多忙な時期にも関わらず沢  
山の部員が参加してくださいました。  
例年、秋以降にならないと皆さんと

顔を合わせる機会が少なかったので、  
リフレッシュする良い時間となりま  
した。

今年一年も、役員だけでなく部員  
の皆様からより多くの意見やアイデ  
アを頂けたらと思います。厳しい農  
業情勢、異常気象、災害等：気がか  
りなことも多いとは思いますが、私  
達農業女性の繋がりを大事にし、女  
性部活動に参加することで皆さんの  
日々のモチベーションが上がるよう  
な活動をしていけたら幸いです。

また、現在未加入の方、再加入を  
迷っている方、参加してみませんか？  
いつでも大歓迎ですので、お声掛け  
ください。

それでは、本年が皆様にとって最  
良の年となりますようお願い新年の挨拶  
といたします。



女性部 夏季研修会



女性部 花壇づくり



フレミズ部会 夏季研修会



すずらん会 8月例会

# 未来に繋がる 青年部活動を



JA上土幌町青年部  
部長 増田 優造

新年明けましておめでとう  
ございます。

日頃より皆様方には青年部  
活動に対しご理解、ご協力を  
賜りまして厚く御礼申し上げ  
ます。

昨年を振り返ってみますと、  
概ね天候にも恵まれましたが、  
豆類やてんさいの生育は低温  
少雨により一時停滞しました。  
その後は気温が上昇し、生育  
期間全般で気温が平年より高  
く推移したことから、各作物  
の生育は進みました。また、  
小麦では等級品反収が過去最  
高を記録するなど平年作以上  
を確保した良好な一年となり

ました。生乳においては生産  
抑制下から脱し、増産に向け  
て再スタートした年となりま  
した。

社会情勢へ目を向けますと、  
異常気象等により世界規模で  
の自然災害が頻発するなど、  
気候変動への対応が求められ  
ています。深刻化する国際紛  
争等により生産資材費は高止  
まりしている一方で、その上  
昇分を補えるだけの価格転嫁  
が思うように進んでおらず、  
農業経営に甚大な影響を及ぼ  
しています。この大きな問題  
を乗り越えていくためには、  
JAグループの一員として各

青年部も力を結集し対応して  
いく必要があります。

本町におきましても、町全  
体で話し合い、日頃から繋が  
りを築いていくことで厳しい  
昨今の状況を乗り越えられる  
と考えています。

そこで今年度の青年部では  
昨年新しく作り直したポリシ  
ーブックを活用し、上土幌町・  
JAに協力を依頼するなど新  
しい事業に取り組んで参りま  
した。その中で強く力を入れ  
たのが、鹿やキツネなどに對  
する鳥獣被害対策です。青年  
部内でも長年問題視しており  
ましたが、昨年度員の熱い想  
い、そして何より上土幌町・  
JAのお力添えで部員のハン  
ター免許取得に対して助成を  
頂ける見込みとなりました。

残念ながら昨年は免許の申し  
込みに間に合わず免許取得者  
は0名ですが、今年に繋がる  
大きな事業になったのではな  
いかと思います。また、昨年  
の七月に行われたビアパーテ

ィーでは焼きおにぎりとフル  
ーツ飴販売、八月のバルーン  
フェスティバルではトラクタ  
ー展示、十月に行われた農商  
工生涯学習祭りではシチュー  
販売を行い、担当となった部  
員を中心に町で行われた多く  
のイベントに参加することが  
出来ました。地域住民の方々  
と交流する時間は青年部員に  
とっても楽しい時間になった  
と思います。

食育事業では、青年部では  
初となる保育園児を対象とし  
た芋掘り体験と、毎年行われて  
いる上土幌小学校三年生を対  
象に農業体験を実施しました。  
八月の芋掘り体験では、一生  
懸命芋を掘る姿や質問を投げ  
かけてくれる姿を見て改めて  
この事業の大切さを実感しま  
した。十月には酪農体験を実  
施し、普段なかなか目にする  
ことが出来ない酪農の仕事  
を見てもらうことで、酪農の仕  
事に少しでも興味を持つても  
らえたのではないかと思います

す。十一月には給食センター  
に寄贈した馬鈴薯を使った給  
食を小学生と一緒に食べるこ  
とが出来ました。コロナウイ  
ルスの影響でなかなか出来な  
かった交流が出来るようにな  
り、農業が子ども達の身近に  
あると感じてもらえたと思  
います。今後も安心安全な農畜  
産物を作る為にも、食と農の  
繋がり大切さを知ってもら  
えるようにこれからも努めて  
いきたいと思えます。

農業を取り巻く情勢はまだ  
まだ厳しいですが青年部とし  
ていま必要なものは何か、出  
来ることは何かを考えて日々  
の事業に取り組んで参ります。  
結びとなりますが、皆様の  
ご健勝とご繁栄を心からお祈  
り申し上げますと共に、本年も  
豊穰の秋を迎えられますこと  
をご祈念致しまして新年のご  
挨拶とさせていただきます。





2025

# 謹んで新年の お慶びを申し上げます



- 農協会長理事
- 代表理事組合長
- 専務理事
- 常務理事
- 筆頭理事
- 理事
- 代表監事
- 常勤監事
- 一般監事
- 員外監事
- 他
- 農協地区連絡連合協議会 会長
- 農協女性部 部長
- 農協青年部 部長
- ホクレン清水製糖工場北部原料所 所長
- 農民同盟 委員長
- 酪農振興会 会長
- 畑作振興会 会長
- 馬産振興会 会長
- 和牛生産改良組合 組合長
- ホルスタイン同好会 会長
- 野菜生産組合 組合長
- 酪農ヘルパー有責任事業組合 組合長
- 農協年金友の会 会長

遠宮大小藤金齊佐伊鍵増布藤職猪西松泉大菅布嶋泉辺高高小  
 山内原椋屋田藤藤藤下田谷本員狩原岡田道原谷木田見木橋椋  
 公拓淳信龍雄喜顕恵優桂 一敏正秀吉欣 知勝和 昭茂  
 昇哉哉一幸二司明郎太造子猛同勝行行徳実彰宏美寛仁茂博敏



# 就任のご挨拶



専務理事 高木 茂

去る十月二五日の理事会において任期途中ではありますが、大道前専務理事の後任として専務理事に就任いたしました。

改めてその責務の重さに緊張と不安を感じていますが、

組合員皆様方のご指導とご支援を頂きながら、役職員と共に職務を全うしてまいりたいと存じます。

農業を取り巻く情勢は新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ

と、あらゆる価格が高止まり、

又は、更なる値上げとなる中、

農業者にとって非常に厳しい状況が続いています。

今後は、二十五年ぶりの食

料・農業・農村基本法改正により、新たな持続可能な地域農業、農協の発展に貢献できるように微力ではありますが、精一杯取り組んで行きたいと思えます。

最後になりますが、本年も

組合員の皆様とご家族のご健康と豊穰の秋を迎えられますよう祈念すると共に、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



# 理事会だより

## 第9回理事会

令和6年10月25日

### 報告事項

- 第2・四半期監査報告について
- 内部監査報告について
- 組合員の加入、脱退について
- 固定資産の取得について
- 営農貯金利率について
- 令和6年産馬鈴薯集荷実績について
- 令和5年産食用・加工用馬鈴薯共同計算の精算結果報告について
- 令和6年産豆類集荷状況について
- 令和6年度原料てん菜輸送計画について
- 2024北海道ホルスタインナショナルショウ入賞結果について
- 第2・四半期生乳生産出荷状況について
- 固定資産の取得について
- 農作業受委託事業に係る粗飼料の収穫作業結果について

### 議案第1号

専務理事の選任等について

### 議案第2号

組合長及び専務理事職務代理者の順位決定について

### 議案第3号

各種委員の選出について

### 議案第4号

固定資産の取得について

### 議案第5号

固定資産の処分について

### 協議事項

第31回J A北海道大会の開催について(WEB参加)

### 議案第7号

十勝管内J Aコンプライアンス研修会の開催について

### 報告事項

関連会社の財務状況について

### 議案第8号

大豆収穫状況について

### 議案第2号

令和6年産種子馬鈴薯入

### 報告事項

令和6年度農地評価額について

### 協議事項

上土幌町ナイタイ高原牧場指定管理者申請について

### 議案第3号

令和7年融資方針及び営業計画書協議方針について

### 議案第4号

令和6年度農地評価額について

庫状況について

### 議案第1号

定款第52条第3項の規定に基づく契約について

### 議案第2号

定款第52条第3項の規定に基づく契約について

### 議案第3号

役員賠償責任保険契約の締結について

### 議案第4号

給与規程の一部変更について

### 議案第5号

準職員給与規程の一部変更について

### 議案第6号

臨時職員就業規則の一部変更について

### 議案第7号

信用事業方法書(為替取引)の一部変更について

### 議案第8号

固定資産の処分について

### 協議事項

令和6年度農地評価額について

### 議案第1号

令和7年融資方針及び営業計画書協議方針について

### 議案第2号

令和6年度農地評価額について

### 報告事項

令和6年度農地評価額について

### 協議事項

令和6年度農地評価額について

### 議案第3号

令和6年度農地評価額について

### 報告事項

令和6年度農地評価額について

### 協議事項

令和6年度農地評価額について

## 第10回理事会

令和6年11月22日



# 農協法公布記念日に

## あたたつて



北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 **樽井 功**

昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で七十七年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じて、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のも

と、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

近年の農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、世界的な気候変動による猛暑や豪雨などによる各作物の収量および品質の低下、国際的な食料需給事情の変化や急激な円安の進行による生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えております。

本年は、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法が改正され、国民一人一人

の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられるなど、世界の食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題等を踏まえた内容となっており、日本の農政は大きな転換点を迎えております。

かかる状況のもと、先般、三年に一度のJA北海道大会を開催し、将来ビジョンである【「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」くひとを育み、ひとと歩む】が確認されたところであります。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識し、一丸となって大会議案を着実に実践していくことが社会からの要請に応えることにもなります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が

夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたたつてのメッセージと致します。









# J A 青年部 給食センターへ馬鈴薯寄贈

十月二十五日、JA青年部（増田優造部長）は、部員宅で収穫された馬鈴薯を町内の給食センターへ寄贈した。

食育活動・地産地消の取り組みとして、安全・安心な地産の農産物を子どもたちに食べてもらい、上士幌町農業の素晴らしさ感じてもらうことを目的とし、今年度で二十回目の開催となる。

当日は畑作部会員の圃場で収穫された馬鈴薯約百キロを上士幌町教育委員会小堀雄二教育長へ手渡した。横山畑作部会長より「今年度で二十二回目となったこの事業も毎年違った青年部員による寄贈が行われており、それぞれの圃場で丹精込めて育てられた馬鈴薯を給食で使用して頂き、地産の農産物を子どもたち

に味わってもらい、美味しいと感じてもらえたら嬉しい。」と挨拶。小堀雄二教育長は「子どもたちには安心・安全な食

材を通じて今まで以上に農業について理解してもらいたい。」と御礼を述べた。

寄贈した馬鈴薯は今後、町内の学校給食として様々なメニューで配給される予定となっている。



給食センター前にて



# 第49回 J A 十勝青年部大会 盛大に開催される

十一月二十五日、第四十九回 J A 青年部十勝大会が開催され、十勝管内二十三

単組から多くの盟友が参加した。大会では、六単組の各代表者による十勝地区 J A 青年の主張大会、「十勝の農業から魅力ある未来へ」と題し一般社団法人北海道プロデューズの代表理事 中村真也氏の

講演会、三十秒CMコンテスト、純農ボーイコンテスト、十勝地区農協青年部協議会事業報告、懇親会が行われた。三十秒CMコンテストでは、各単組の個性豊かなCMに笑



青年組織綱領朗読

いや感動で会場が沸いた。JA上士幌町青年部からも一作品応募したが、惜しくも入賞とはならなかった。懇親会では余興のアームレスリング大会が行われ、各単組による熱い応援で会場が沸いた。大会に参加した青年部員は他単組との交流を深め、有意義な時間を過ごす事ができた。



アームレスリング大会の様子





サッポロビール北海道工場視察

樹酪農部会長）は管外合同視察研修を開催し、十二名の部会員が参加した。

今回は恵庭市にある、エム・エス・ケー農業機械株式会社、本社では、会社ビデオ視聴・トラクター組立工場見学・保管倉庫見学・部品庫見学を行った。エム・エス・ケーは全道二十四営業所から、農業の発展に貢献するためにサ



### J A 青年部

## 管外合同視察研修開催

十二月五日〜六日、

J A 青年部畑作部会・酪農部会（横山雅人畑作部会長・高木俊樹酪農部会長）は管外合同視察研修を開催し、十二名の部

会員が参加した。

今回は恵庭市にある、エム・エス・ケー農業機械株式会社、本社では、会社ビデオ視聴・トラクター組立工場見学・保管倉庫見

ポートをやっている。また、道外には東日本支社・西日本支社も構え、日本の「食」を機械分野で全国的に支援していると説明をいただいた。工場見学では、数多くのトラクターが並んでおり実際に整備士が働いている姿を見る事ができ、部員たちも興味津々な様子で見学していた。

その後、サッポロビール北海道工場に移動し見学を行った。道民から愛されているサッポロビールには網走地区で獲れた大麦を一部使用しており、フィールドマンと呼ばれる、原料調達のプロの社員たちが世界中の原料産地を訪れ、

現地の生産者とともにホップや大麦を作り上げていく「共同契約栽培」という方法をとっており、ドイツ古来の醸造法である「ホップ・クルツ製法」と呼ばれる、高温・短時間で仕込む製法がスッキリしつつも飲みご

たえがあるビールに仕上がる

と学んだ。

視察研修を終え、増田部長は「部員達が幅広い農業知識を学べて良かった。新しく学べた事も多々あり、今後の営農活動に活かしていきたい。」と話していた。多くの部員からとても有意義な研修を過ごすことが出来たとの感想が上



エム・エス・ケー(株) 本社視察



工場見学の様子



CM動画優秀賞受賞

初日は各単組の代表者による J A 青年の主張大会・活動実績発表大会が行われ、主張大会については、十勝から先日開催された十勝大会の代表者が壇上で堂々と発表して



### 第73回 J A 青年部

## 全道大会開催

十二月五日〜六日

にかけて第七十三回全道 J A 青年部大会が札幌パークホテルにて開催され、全道各地の青年部員が集まり当 J A 青年部からも四名の役員が出席した。



青年組織綱領朗読

いた。二日目は基調講演・本大会が式次第に沿って行われ、「動画で発信！農の魅力」コンテンツでは J A 上士幌町青年部の三十秒 CM が農村風景部門で優秀賞を獲得するなど盛大のうちに閉会した。今後

も上士幌町農協青年部はこのような上部組織への積極的な参加を行っていく。





**J A 女性部**

**日帰り研修会開催**

J A 女性部（布谷桂子部長）は十二月三日、農協事務所三階会議室で日帰り研修会を開催した。

当日は三十名の部員が参加し、布谷部長の挨拶で開会し研修に入った。

はじめに十勝農業改良普及センター十勝北部支所地域第二係長笠井千会氏を講師に迎えて農作業安全講習会が行われた。熱中症対策や草刈り作業時の安全対策、家畜の事故対策などの研修を受けた。次に、布谷部長から作り方の説明を受け、紙コップと麻紐を使ったミニかご作りを行った。周りの部員と手順を確認しながら終始笑顔でかごを作り上げていた。その後、ビンゴ大会が行われ、J A 常勤、J A 各部署、A コーブルピナから豪華景品（一位には組合長賞の十勝ナイタイ和牛など）が用意され、大いに盛り上がった。

最後まで部員間の交流が続き、女性部がより一層絆と輝きを増した研修会となった。



布谷部長開会挨拶



普及センターによる農作業安全講習



ミニかご作り様子



組合長賞 おめでとうございます！



ビンゴ入賞者





# 令和6年度



## JA北海道女性大会・北海道家の光大会開催



十一月七日、八日、札幌プリンスホテル国際館パミールにて令和六年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会が開催された。

道内JA女性部員約三百八十名が参加した。当JAからは女性部長、副部長三名が出席した。

一日目は、家の光持ち寄り読書・家の光記事活動体験発表が行われた。次に、講師に北海道三笠高等学校齋田雄司氏を迎え、「料理を通して人を育てる」の研修会があり、その後全体懇親会が行われ終了した。

二日目は農業ガールズコレクションが開催された。十勝地区からは「十勝の魅力的な特産品の発信」と題し、単組部長が各JAの特産品を持ちPRを行った。当JAは布谷部長がナイタイ和牛Tシャツに上土幌町豆缶、お手製のうちわを持ちPRを行った。農業ガールズコレクションで紹介した特産品



大会の様子

は来場者に抽選でプレゼントされ、大いに盛り上がった後に閉会した。

今大会は農業やJAをめぐる諸情勢や動きを踏まえた新たな計画や決議等が策定された経過をもとにJA道女性部として関係機関の助言のもと、新たな基本方針の策定をはかるとともに全道の仲間と連携をはかり、今後の活動の活性化やJA運動に結集することを目的に開催された。

JA北海道女性協議会はJA女性組織三ヶ年計画「JA女性想いをひとつに かなえよう」並びにJA道女性協の組織強化基本方針等に基づき活動している。

## JA女性部 商工会女性部との交流会開催



JA女性部（布谷桂子部長）は、十一月一日居酒屋カフェ母家にて商工会女性部役員とJA女性部役員との交流会を開催した。

交流会は布谷部長の挨拶から始まり、互いの活動内容を報告し交流を楽しんだ。その後、自己紹介をし、自身の目標や今後やってみたいことなどを話し、大いに盛り上がった。

商工会女性部森岡部長から閉会の挨拶を頂き、一本締めで閉会した。

# 家の光

1月号の読みどころ

いまからでも遅くない！

人生を楽しむ生きる幸せ習慣

「家族のため」「子どものため」と、自分のことを後回しにしていますか。自分と向き合う方法や、自分の魅力を引き出すメイク術など、今の自分をもっと好きになるためにできることを紹介します。

ありのままの自分を認めていたわり、人生の後半戦をいきいきと元気に過ごしましょう。

注目！2月号予告

いま注目！

進化系農家レストラン

農家の女性たちが地域の伝統食や家庭料理を提供するイメージの強い農家レストランですが、近ごろは、名店で修業した店主やイベント性に加え、その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた職を楽しむ、その土地の食文化に触れることを目的とした観光「ガストロノミーツーリズム」の影響で観光の目的地とされることも増えていきます。そんな進化系農家レストランの取組みを紹介します。



# すずらん会

## 11月例会



### のんびりした一日を 一泊研修旅行開催

J A女性部すずらん会（根本佐代子会長）は11月19～20日に一泊研修旅行を行った。

今年はホテルテトラリゾート十勝川に宿泊し、会員九名が出席した。

当日は15時30分に、送迎バスに乘車しJ A上士幌町前を出発、16時半頃テトラリゾート十勝川へ到着した。18時から懇親会を行い、根本会長の音頭で乾杯し美味しい料理を頂きながら、世間話で大いに盛り上がった。夕食を食べた後はそれぞれ温泉を満喫し、部屋でおしゃべりをして日頃の疲れを癒やしていた。



テトラリゾート十勝川にて



乾杯！

# すずらん会

## 12月例会



### いもころがし大会開催！



J A女性部すずらん会（根本佐代子会長）は12月4日に「いもころがし大会」を行った。

手や足を使って色々な形をした芋を転がし、高得点を狙うゲームで今回は10名が参加した。

2班に分かれて2種類の得点表を使い、班ごとに順番に回って行われた。高得点を狙ったつもりが隣のマイナス点に入ったり、大いに盛り上がった。

ゲーム終了後は景品が全員に当たった。その後農協会議室で忘年会が行われ、色んな話して盛り上がり寒さを忘れる楽しい一日となった。



点数の協議中！



高得点をめざして



2024



# 北海道ホルスタイン ナショナルショウ ジュニアチャンピオン 受賞祝賀会を開催!!

十一月二十二日、金亀亭にて先般開催された2024北海道ホルスタインナショナルショウにおいて、小椋直樹氏の出品牛「TMF チーフ プレフオール バーバル ビスタ」がジュニアチャンピオンに輝いたことを祝して受賞祝賀会が開催された。当日は関係機関の方々も含め約六十人が出席し、主催者を代表して高橋組合長より挨拶があり、来賓の竹中町長、十勝農業協同組合連合会太



田参事より祝辞が述べられた。受賞にあたり、小椋直樹氏より「今回の受賞は自分だけの力ではなく多くの方々の支えや協力があったからこそ。の受賞であり、心より感謝いたします。」と挨拶があり、高木専務理事の乾杯の音頭で祝賀会が行われた。最後に上士幌町ホルスタイン同好会会長小椋淳一氏による閉会の挨拶で、盛況のうちに終了した。



TMF チーフ プレフオール バーバル ビスタ



祝賀会の様子



# 第31回JA北海道大会開催

十一月二十日、

第三十一回JA北

海道大会が札幌コンベンションセンターで開催された。

全道各地のJA及び連合会の代表、青年部・女性部の代表約千人が集まり、当JAからもWEB配信含め二十名参加した。

始めに、東京農業大学総合研究所特命教授末松広行氏より「新たな食料・農業・農村基本法における北海道農業の目指すべき方向性」の記念講演が行われ、その後北海道大会が開催された。食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立、JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立、農業・食・JAへの理解醸成が決議された。北海道大会終了後、北海道農業協同組合中央会小椋茂敏副会長理事の挨拶で閉会した。



北海道農業協同組合中央会  
小椋茂敏副会長理事



記念講演様子



牛乳をもっと食卓に

## おいしい ミルクレシピ

煮汁まで飲み干せる、やさしい味

### ミルクふろふき大根



#### 材料(2人分)

- 大根…………… 8cm(300g)
- にんじん…………… 小1本(100g)
- 大根の葉…………… 少量
- A
  - 牛乳…………… 300ml
  - 水…………… 50ml
  - みりん…………… 大さじ1
  - 塩…………… 小さじ1/4
- 豚ひき肉…………… 100g
- B
  - 牛乳…………… 100ml
  - みそ…………… 40g
  - 砂糖…………… 大さじ2
  - かたくり粉…………… 小さじ1
  - こしょう…………… 小さじ1/4
- ゆずの皮…………… 適量

#### 作り方

- 1 大根は2cm幅に切って皮をむく。にんじんは皮をむき、長さを半分に切って縦半分に切る。
- 2 鍋に湯約1Lを沸かし、①を入れ、10分間ゆでる。煮上がり間際に大根の葉も入れてサッとゆで、ざるにあげて手早く冷ます。
- 3 鍋にAを入れて中火にかけ、煮立つ直前に大根、にんじんを入れる。水で濡らした紙タオルで落としぶたをし、弱火にして20分間煮る。
- 4 小鍋にひき肉を入れて広げ、そのまま中火にかける。半分ほど色が変わったら2分ほど炒める。Bを混ぜ合わせて加え、弱火でとろみがつくまでよく混ぜながら煮る。
- 5 器に③をスープごと盛って④をかけ、②の大根の葉を添え、ゆずの皮のせん切りを散らす。

出典●「ミルクウェブ」サイト「ミルクレシピ」

# ドローンによる農薬散布デモフライト実施



十月三十一日、上士幌町農作業再生協議会主催のドローンによる農薬散布のデモフライトが開催された。

当日は(有)高橋農場の小麦畑約三、五haの圃場への雪腐れ病の防除作業を、国内で農業用として供用されている中で最大のタンク容量七十ℓの大型機械を用いて行われ、天候にも恵まれ三十分程で作業は完了した。その後、機械の紹介や参加者による質疑応答が行われた。

近年の天候不順等から農薬散布の適期実施が困難になるケースが頻発しており、各地でドローンによる作業実施事例が増えてきている。併せて機械の大型化だけではなく、風圧を変え展着し易い施工方法等性能及び作業性も向上してきている。

ドローンによる農薬散布デモフライトは六月にもデントコーン圃場で実施しており今回で二回目となる。認可されている薬剤にも限りがあるが、今後も労力軽減のために関係機関が協力し、先端技術の普及を推進していく。



身近な草木 和ハーブ入門

植物民俗研究者／和ハーブ協会副理事長 ●平川美鶴

## 春の七草 新年を祝う和ハーブ7種のレシピ

「セリ ナズナ ゴギョウ ハコベラ ホトケノザ スズナ スズシロ これぞ七草」  
5・7・5・7・7のリズムで、子どもの頃は自然と七草たちの名前を覚えました。

実際のところ、現在の暦で1月上旬は若菜摘みにはまだ早く、旧暦1月7日(人日の節句)に当たる2月上旬ごろになってようやく、野にセリやハコベラの若葉がひょっこり顔を出してきます。

7種類の和ハーブを細かく刻んで炊きたてのおかゆに混ぜていただく「七草がゆ」は、ミネラルや食物繊維の補給の意味でも理にかなっていませんが、今回はちよつと変化球。この時期になるとスパーマーケットなどで手に入る「七草セット」を活用した「和ハーブ七種みぞれスープ」をご紹介します。1月7日の朝、年末年始の胃腸の疲れを癒やしつづ、無病息災と豊稔(ほうじょう)を願っていたかもしれません。

■和ハーブ七種みぞれスープ  
■材料(作りやすい分量)  
・七草セット(市販) 1パック  
・ダイコン(またはカブ)  
4分の1本(約200g)

①ダイコン(またはカブ)とショウガをそれぞれすりおろす。  
②かつおだしに①を加えて火にか  
け、塩としょうゆで味を調える。  
③②に刻んだ七草セットを全て加え、ひと煮立ちさせて出来上がり。  
七草セットがない場合は、ミツバやセリ、シユンギクなどの香味野菜で代用できます。焼いた餅や、刻んだユズの皮を加えるのもお勧めです。ぜひお試しください。



©(一社)和ハーブ協会/木内康代

体を温め、消化を助けます



## 酪農情報

令和6年度10月 生乳受託販売実績数量

	受託戸数	受託乳量	前年比	乳代 ①	単価	補給金 ②	合計 ①+②	単価	前年との差
上士幌町	戸 57	kg 10,307,666.0	% 101.3	円 1,162,367,580	円 112.77	円 89,689,062	円 1,252,056,642	円 121.47	1.51
十勝管内計	962	105,351,989.9	102.6	12,086,833,157	114.73	916,688,731	13,003,521,888	123.43	3.16
全道計	4,338	326,514,830.4	102.3	37,769,809,996	115.68	2,841,070,843	40,610,880,838	124.38	3.58

	累計受託乳量	前年比	単価	前年との差	乳脂肪率 %	無脂固形率 %
上士幌町	kg 73,397,648.0	% 100.3	円 120.2	% 5.8	% 3.831	% 8.829
十勝管内計	744,621,507.2	100.7	121.3	6.8	3.936	8.816
全道計	2,308,831,380.9	100.5	122.2	7.1	4.020	8.810

## 家畜市場成績

令和6年度 ホクレン十勝肉牛市場消流情報（6.11.7）（6.11.21）

	黒毛和種・メス	黒毛和種・去	乳用交雑・メス	乳用交雑・去
出場頭数	頭 479	593	1,388	1,355
成立頭数	頭 444	563	1,340	1,329
売買比率	% 92.7	94.9	96.5	98.1
売買金額	円 194,288,600	318,437,900	431,608,100	481,192,800
最高金額	円 676,500	845,900	520,300	487,300
最低金額	円 57,200	18,700	114,400	103,400
平均金額	円 437,587	565,609	322,096	362,071

令和6年度 ホクレン十勝地区乳牛市場消流情報（6.11.26）

	初妊牛小計	経産牛小計	合計	上士幌町
出場頭数	頭 566	104	671	34
成立頭数	頭 559	100	660	32
売買比率	% 98.8	96.2	98.4	94.1
売買金額	円 312,354,900	39,015,900	351,480,800	18,458,000
最高金額	円 993,300	682,000	993,300	676,500
最低金額	円 198,000	132,000	110,000	270,600
平均金額	円 558,774	390,159	532,547	576,813

# JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

## 第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の需給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活動・運動であります。

令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産予算の確保に向け、JAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじめ、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要であります。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第5回)は、参議院選挙の仕組みについて紹介します。



東野ひでき公式LINEアカウントへの登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

### 行事予定

1月

2日 仕事始め (スタンド)

6日 仕事始め (事務所)

7日 和牛市場

10日 飼料定配

14日 乳牛市場

中旬 農業廃プラ

16日 育成牛市場

23日 F1市場

24日 飼料定配

28日 乳牛市場

2月

6日 和牛市場

7日 飼料定配

10日 乳牛市場

13日 育成牛市場

中旬 農業廃プラ

17日 F1市場

25日 飼料定配

26日 馬市場



# JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

## 第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位とする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



東野ひでき公式  
LINEアカウントへの  
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。

東野ひでき北海道後援会



読み応えある記事に **ワクワク**  
記事活用で楽しく **イキイキ**

ぜひ  
ご購入  
ください!

# 家の光

IE no HIKARI  
お申し込みはお近くのJAへ



# 秋の収穫 作業風景



長芋収穫



てん菜収穫



ごぼう選果



豆梱包作業



豆選果



薬草茎切作業



大豆収穫





上士幌町農協組合員のみなさんへ

# 令和6年度 巡回ドックの最終案内




ご自身の健康管理のため、組合員様とご家族皆様へ巡回ドックのご案内をいたします。  
まだ健診を受けていない方は、1月の巡回ドックをぜひご利用ください！

## <ふれあいプラザで実施する集団健診>


日時	健診名	対象者	料金	健診内容
令和7年 <u>1月28日(火)</u> <u>~31日(金)</u>	特定健診	40~74歳の町国民健康保険加入者	0円	身体測定 血圧測定 血液検査 尿検査 心電図検査 眼底検査 医師の診察
	基本健診	18~39歳の者		
	後期健診	後期高齢者医療保険加入者		

★国保以外の健康保険加入者で40~74歳の場合、令和6年度特定健診受診券をお持ちの方等も受診することができますが、金額や検査内容は加入している健康保険にお問い合わせください

## <上記の健診と一緒に受けられるがん検診>

検診名	料金	検診内容
大腸がん検診 	500円	便検査
肺がん検診 	400円	胸部レントゲン検査
胃がん検診 	1,400円	胃バリウム検査

この他にも前立腺がん等の検診も行っておりますので、受診希望の方はお問い合わせください！



- ◆料金 上記の検診料金の半額を農協が助成します
- ◆申込み先 役場保健福祉課健康増進担当（ふれあいプラザ内 電話2-4128）
- ★定員に達した場合は、ご希望の日時に添えない場合があります。

2次元コードからも申込みます！



健診専用



健康ミニ  
コラム

### 【腸内環境を整えよう】

腸は病原菌が体に入り込むことを防ぐバリア機能を持っています。腸内環境を整える下記の食材を取り入れ、感染症に負けない身体づくりをしましょう。

#### 〈腸に良い食材〉

- ◆納豆、キムチ、ヨーグルトなどの発酵食品
- ◆野菜、きのこ、海藻類などの食物繊維が豊富な食材



# 令和6年度 年末年始の業務体制

	12.29	12.30	12.31	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	備考
	日	月	火	水	木	金	土	日	
事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
信用・共済窓口	○	9:00 ~15:00	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
事務所内 A T M	○	8:00 ~19:00	○	○	○	○	8:00 ~19:00	○	6日から平常営業
生産資材店舗	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
生産資材倉庫	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
農産センター	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
セ ス タ ン ド	8:00 ~19:00	8:00 ~19:00	8:00 ~16:00	○	8:30 ~15:00	8:30 ~15:00	8:30 ~17:00	8:30 ~17:00	6日から平常営業
洗 車 場	8:30 ~18:00	8:30 ~18:00	8:30 ~15:00	○	9:00 ~14:00	9:00 ~14:00	9:00 ~16:00	9:00 ~16:00	6日から平常営業
集 乳 所	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休
TMRセンター	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休
ナ イ タ イ 高 原 牧 場	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休

※○は休業日